

**注意！**

■この記事は発行年月日時点の内容のまま公開していますので、ご覧になった時点の法規制(農業使用基準等)等に適合しなくなった内容を含む可能性がありますから、利用にあたってはご注意ください。

# 農作物技術情報 第7号 畑作物

発行日 平成25年 9月26日  
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部  
編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ (電話 0197-68-4436)

携帯電話用 QR コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます  
パソコンからは「<http://i-agri.net>」 携帯電話からは「<http://i-agri.net/agri/i/>」

- ◆ **大豆** 生育の早いところでは葉の黄化・落葉が始まっていますので、ほ場観察をこまめに行い、適期に収穫できるよう準備をすすめましょう。施設を利用して乾燥調製を行う場合は、あらかじめ連絡を取り合い、計画的に作業できるようにしましょう。また、台風20号が接近していますので、収穫作業に支障が出ないよう排水対策を行いましょう。
- ◆ **小麦** 小麦の播種適期となっています。適期を逃さず確実に作業を行い、生育量の確保に努めましょう。ほ場条件が整わず適期を逃したほ場では、播種量を増やし、目標株立数の確保に努めましょう。

## 大豆

### 1 生育の状況

生育の早いところから黄化、落葉が始まっており、早いところでは10月上旬に収穫適期になります。まだ青々したところから落葉したところまで、ほ場によって差があるので、ほ場をよく観察し、刈り遅れないように準備をすすめましょう。

7月の長雨の影響で、湿害による生育不良や茎疫病等の立枯性病害が発生している圃場が散見されています。このような株は、登熟が十分進まずに粒の充実が劣ることがありますので、圃場をよく観察し、明らかに登熟状況が異なる場合には、健全なものと分けて刈り取るようにしましょう。

### 2 収穫作業のまえに

#### (1) 台風対策

台風20号が接近しています。収穫作業に支障が出ないように、周囲溝や排水口などを点検・補修し、速やかに排水できるようにしておきましょう。

#### (2) 除草

アメリカセンダングサ、シロザなどの大型雑草は、収穫時に汚損粒の発生原因となるので、収穫前に取り除きましょう。

#### (3) コンバインの清掃

収穫作業の前には必ず清掃点検を実施し、作業に支障が出ないか確認しておきましょう。

また、土をかみ込んだ時など収穫作業中でもコンバインの清掃が必要となることがあるので、清掃のポイントを把握し、効率的に行えるようにしておきましょう。

#### (4) 乾燥・調製施設の確認

乾燥・調製施設を利用する場合には、その稼働計画について確認し、ほ場の様子を踏まえた上で、刈り取りの順番、収穫機械やオペレーターの確保等、準備をすすめましょう。

### 3 収穫

#### (1) 成熟期の判断

適期に収穫するためには、まず成熟期を知ることが必要となります。

成熟期は次の2つから判断します。

- ア ほ場のほとんどの株で、大部分の莢が熟色になっている
- イ 莢の中の子実が乾燥子実の形になっている

莢を振ってカラカラ音がするようになったら、数カ所で実際に莢をむいて確認します。成熟期を確認したら、表1を参考に収穫作業に入ります。

表1 成熟期からコンバイン収穫適期までの日数

品種	成熟期からコンバイン収穫適期までの日数		
	早限	晩限	収穫(適)期間
コスズ、すずほのか	7～10 日後	30 日後	20～23 日
ユキホマレ	7～10 日後	20～25 日後	10～18 日
ナンブシロメ、スズカリ	10 日後	20～25 日後	10～15 日
リュウホウ	10 日後	20 日後	10 日
青丸くん	10 日後	16 日後	6 日間前後

※「青丸くん」は刈り遅れると子実の色抜けが生じることから、直ちに刈り取れる体制を整えておき、収穫適期間になったら、一気に刈り取るようにする。

## (2) コンバイン収穫のポイント

### ア 収穫時の茎水分は 50%以下

茎水分が 50%を超えると、こぎ胴で揉まれ、汚損粒の発生原因となります。茎水分 50%以下の目安は、分枝が手でポキポキと折れるときです。周囲の株と違い、青々として残っている株は必ず抜き取ってください。また、冠水や倒伏により莢に泥が付着したり、高温・乾燥により早くから落葉するなど、品質低下が懸念される場合は刈り分けを行いましょう。

### イ 収穫時の子実水分は 18%以下

収穫時の子実水分は、損傷粒の発生に大きく影響します。子実水分が 20%以上と高すぎる場合は、つぶれ粒を主体とする損傷粒が多くなり、15%以下と低すぎる場合は、裂傷や割れ豆などの損傷粒が多くなる傾向があります。

### ウ 収穫の時間帯は茎葉がよく乾いた頃

晴れた日の場合、午前 10 時過ぎ～午後 5 時頃までが目安です。

## 4 乾燥

### (1) 乾燥

子実水分が高いものを急速に乾燥させると、裂皮粒やしわ粒発生の原因となります。子実水分を均一に低下させるよう、送風温度等に留意しましょう。

### (2) 被害粒発生のしくみ

被害粒のうち、裂皮粒やしわ粒は、子実肥大期での充実不足等、成熟期までに生理的に起きるものもありますが、乾燥時にも発生することが知られています。土作り等で地力の維持に努めることや、乾燥時に急速な乾燥を避けることも必要です。また、亀甲じわは、子実形成から収穫期前後までの乾燥・吸湿の過程で、皮と子実の収縮・伸長の繰り返しが原因でおきるので、刈り遅れは厳禁です。

## 小麦

### 1 小麦の播種適期を迎えています

例年、播種が遅れ生育量が足りないまま越冬する小麦ほ場が多く見受けられます。表 2 を参考に適期を逃さず作業を行い、生育量の確保に努めましょう。

ナンブコムギは、縞萎縮病に弱いため、例年縞萎縮病の発病が見られる圃場で作付けをすると、播種時期の気温が高いほど翌春の発病程度が高まり、減収します。このような圃場でやむを得ず連作をする場合には、適期内でできるだけ晩播とすることが被害軽減に有効です。

表 2 県内の地帯別播種適期

地帯	播種期 (月. 日)		適期日数 (日間)
	早限	晩限	
高標高地	9. 15	9. 25	11
県北部	9. 15	9. 30	16
県中部及び沿岸北部	9. 20	10. 5	16
県南部	9. 25	10. 20	26

### 2 もしも適期を逃したら・・・播種時期が遅れたときの考え方

(1) 播種適期を守るのが基本ですが、ほ場条件が良くない場合、無理に播種しても発芽不良になるだけですので、その場合は作業を見合わせましょう。

(2) 適期が過ぎてしまった場合は、各地帯の播種晩限から 1 週間遅れるごとに 10%播種量を増やし、

目標株立数を確保できるよう努めましょう（表3）。

表3 品種別の播種量と目標株立数

品 種 名	播 種 量 (kg/10a)		目 標 株 立 数 (株/m <sup>2</sup> )	千 粒 重 (g)
	ドリル播	全面全層播		
ナンブコムギ	4～6	5～8	75～120	41
ネバリゴシ	6～8	8～10	130～170	37
ゆきちから	6～8	8～10	120～160	39
コユキコムギ	6～8	8～10	120～160	41
キタカミコムギ	6～8	8～10	115～150	42
ファイバースノウ (大麦)	6～8	8～10	130～170	38

注) 播種粒数に対して株立率を80% (全面全層播は64%) として求めた。

#### 4 排水対策を万全に

水稻の刈り取り後、小麦を作付けするほ場については地表水の速やかな排水を促すため、できるだけ早く額縁明渠を設置しましょう（→必ず排水路につなげて下さい）。

ほ場内明渠は、播種後に実施することも可能です。十分な準備ができない場合、播種後の施工も想定しておきましょう。

農作物技術情報第8号は10月31日（木）発行の予定です。  
気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。  
※ 発行時点での最新情報に基づき作成しております。  
※ 発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用下さい。

9月15日～11月15日は秋の農作業安全月間  
慣れと油断が事故のもと いつもの作業もまず確認！

中央農業改良普及センター・地域普及グループは、現地農業改良普及センターを通じて先進農業者に対する支援活動を展開しています。